

尾ノ上の風 II 第3号

学ぶ きたえる 助け合う

文責:校長 村上 正祐

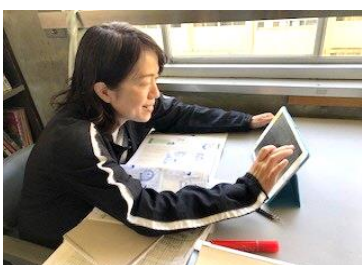


子どもたちの学習をすすめる



昨日（23日）に教育委員会から5月31日までの休校延長が正式に決定されました。尾ノ上小では、長引く休校を受けて、子どもたちの学びを何とかしたいと、本校職員は準備を進めています。

その中のひとつが遠隔学習です。先週14日の登校日に4年生以上の学年でタブレット端末を持ち帰らせました。尾ノ上小の多くのご家庭から、ご家庭のPCやタブレット、スマートフォンなどを学習に使ってもいいですよというご協力が得られました。そのお陰で、4年生以上に端末を持ち帰らせて遠隔学習を少しずつ始めることができます。



15日から3日間、ZOOMというオンライン会議を使って、子どもたちと担任と顔を合わせて健康観察をしたり、ロイロノートというアプリを使って、簡単なメッセージなどのやりとりをしたりし始めました。なかなか、100%の接続というわけにはいきませんが、

ご家庭のご協力のお陰でつながることができるようになってきています。今週20日からは、子どもたちが自分でつくった詩や撮影した写真を提出したり、音読を録音して送ったりすることができるようになってきています。通信がうまくいかないときもありますが、子どもたちはほかの方法を探して出すなど工夫する力がすごいと担任は、逆に感動させられています。担任の先生方も操作やどのような学習ができるかいろいろ工夫を考えながら進めています。新聞やテレビの報道のようにはいきませんが、徐々にできることを増やしていく予定です。

1・2・3学年の子どもたちの学びを準備中です

入学してすぐの1年生は、まだ学習の指導ができていません。進級した2年生、3年生も同じです。子どもたちも不安でしょうし、保護者の皆様もさぞ心を痛めておられると思います。タブレット端末を使える環境にないため、他の方法を全職員で知恵を出して準備を進めており、次のような方法を検討しているところです。

- ①安心メールでの学習や生活についてのお知らせを配信する。
- ②欠席メールのシステムを使って、1週間に1度子どもたちの健康状態や学習の進み具合を学校に送っていただく。
- ③先生方で動画を作成してYouTubeなどで限定公開し、保護者の方から子どもたちに見せていただきながら学習を進める。

ただ、これを進めるにあたり、保護者の皆様のご理解とご協力があることと、ネット環境が関係してきます。近々、1・2年生をお持ちの保護者の皆様に安心メールを通じてアンケートをさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。